

小中一貫教育、CS・地学協働のさらなる充実へ

小中一貫・CS 通信

NO. 74 R7.9.3 幕別町教育委員会 学校教育推進員

今年の夏は（も？）本当に暑い日々が続きました。気が付くと秋を感じさせる風も吹くようになってきた今日この頃…皆さま体調はいかがでしょう？ 各校では先月25日（月）から2学期がスタートし、子どもたちの元気な声が校舎の内外に響き渡っていることと思います。今学期も、子どもたちを中心に据えながら各学園で取り組まれている小中一貫教育・CSの取組の数々をお伝えしていきたいと思います。皆さまどうぞよろしくお願いいたします。

今回は7月に開催された幕別町小中一貫教育・CS推進連絡会議の概要をお伝えします。

幕別町小中一貫教育・CS推進連絡会議

《令和7年7月18日》

今年度1回目となる標記会議が、白人小学校多目的ホールと、ちゅうるい学園会場（忠類中学校）をオンラインで結び開催されました。

最初に、今年度の役員として会長に久保睦則まくべつ学園長、副会長には七田伸克札内東学園長が互選で選ばれ、その後の会議は久保会長の進行のもとで進められていきました。今回の会議の大きなテーマは、各学園で掲げている『目指す子ども像』に注目し、設定した理由や迫るための方法について交流するというものでした。



各学園の「目指す子ども像」

まくべつ学園

- ・自ら進んで学ぶ子ども（知～自主・自立）
- ・思いやりのあるやさしい子ども（徳～共生・共感）
- ・心身ともに健康でたくましい子ども（体～健康・安心）



子どもたちに対する保護者や地域の願いと、小・中で掲げている目指す姿を重ね合わせて「知・徳・体」の観点で目指す子ども像を整理しています。その姿に迫るために乗入授業や挨拶運動など小中の連携した取組のほか、家庭や地域との協働した取組も重視しています。

糠内学園

- ・自分の考えをもち、主体的に取り組む子ども（学ぶ力）
- ・他者と協力し、前向きに判断し、行動する子ども（つながる力）



保護者の「願い」と、教職員が抱く子どもたちの「課題」が『表現力・コミュニケーション能力の育成』で一致し、【学ぶ力】と【つながる力】という観点で目指す子ども像を設定しました。各校でのグループ学習や3校が連携した研究授業交流による授業改善などにより、目指す姿に迫ります。

ふるさとを愛し、たくましさを身につけた子ども～3つの力を磨く義務教育9年間～

- ・自らを表現していく力
- ・自ら学ぼうとする力
- ・他とかがわる力

さつない学園

『郷土愛』と『たくましさ』をキーワードとして目指す子ども像に迫ろうとする際には、「地域・人・時代がつながっていくような取組」を行うことが大切であることが学校運営協議会の熟議で確認されました。地域連携による工夫に満ちた取組の数々を基に、目指す姿に迫ります。



札内東学園

行 動 ～考えたことを行動する子ども～



「考動」から「行動」へ…今年度はより「考えたことを行動に移す子ども」の育成を目指します。『まなび』・『ころろ』・『からだ』・『ふるさと』という4つの視点を基に3校それぞれが特色ある取組を展開。また協働意識を大切にした地域の熱心なサポートもとても心強いです。

- ・自ら学ぶ子ども（知）
- ・思いやりのある子ども（徳）
- ・チャレンジする子ども（体）
- ・ふるさとを愛する子ども（郷）

ちゅうるい学園

「新しいつながり」という学園目標と関連させながら目指す子ども像を設定しています。地域性溢れる特色ある取組により目指す姿の実現に迫る姿勢…忠類ならではの『かぼちゃプロジェクト』では地域のサポートを受けながら「自ら学ぶ姿勢」を育みます。

